





～まだ大丈夫?! その風船～

おぐにの子どもの日まつりが、11月18日、おぐに開発総合センターで開催され、親子連れ70人が参加しました。この日は、バルーンアートやびゅんびゅんゴマづくり、クリスマス飾り作りなどが行われました。バルーンアート作りでは、帽子や剣、犬などを作りました。子どもたちは、風船が割れないだろうかと心配しながら楽しんでいました。

▼10月28日古田歌舞伎定期公演「安達ヶ原の鬼婆」



古田歌舞伎を受け継ぐ多様な力

〜地域住民と若者たちの融合〜

古田歌舞伎は昭和33年の公演を最後に一時途絶えました。が、沖庭地区全体の地域おこしのひとつとして取り組み、昭和61年に復興し、今年で32年を迎えます。長い間、地区の人々が代々受け継いできましたが、少子高齢化や人口減少に伴い、地区住民だけでは難しくなる中、古田歌舞伎保存会では町内外の多くの若者の協力を得ながら伝統を継承しています。今月は、多様な力を取り入れて取り組む古田歌舞伎継承の姿を紹介します。

古田歌舞伎の歴史

古田歌舞伎は、江戸時代の末頃に生まれ、古田の若者たちによって受け継がれ、「古川一座」として大正時代から昭和10年頃まで、村内を始め村外まで求めに応じて旅興行をするほどでした。

しかし昭和30年代に入ると日本は戦後の高度経済成長期を迎え、人々の生活態様の变化に伴って、娯楽も多様化し、



昭和33年1月7日古田分校での上演・絵本太功記

中心となつて上演しました。復興公演の舞台に立った一人である古田歌舞伎保存会顧問の齋藤昇平さんは、「昔は、中学校を卒業すると地区の青年学級の会員に

古田地区に住む人々の娯楽のひとつであった「古田歌舞伎」も昭和33年の公演を最後に途絶えてしまいました。

この時から28年後の昭和61年、沖庭地区全体で組織する沖庭地区福祉推進公民館連絡協議会で地域おこしの一環として地域の伝統芸能を再興していこうと「古田歌舞伎」が再スタートを切りました。

昭和61年の復興公演では、途絶えてしまった昭和33年当時に歌舞伎を演じたことのある人たちが



道具を手入れする齋藤昇平さん

なり、敬老会などで余興として古田歌舞伎を演じていたものでした。昔から教えに来るのは地区の年寄りで、代々受け継がれてきたものでした。こうした伝統が、社会の変化によって一時途絶えてしまったのですが、沖庭地区福祉推進公民館連絡協議会の会長だった塚原勇太郎さん（故人）が村おこしの一環として古田歌舞伎を復興しようと地域内の人に説明して回ってくれたのです。衣装などの道具も使えない状態だったのですが、様々な人に支援をしてもらって演じることができました。当初、私は出演予定ではなかったのですが、稽古の途中で

師匠が倒れ、義太夫がいなくなってしまう、その代役として出演しました。復興までには多くの苦勞もありましたが、復興公演後の地域の人たちの反応がとてもよく、演じた私自身も感慨深いものがありました。当時の記録を読み返すと今でも涙が出てくるほどです。」と話してくださいました。

沖小歌舞伎

古田歌舞伎が復興してから2年後、昭和63年には旧小国町立沖庭小学校において、古田歌舞伎関係者だけでなく学区内の様々な人たちの協力を得ながら、沖庭小学校5年生が郷土学習の一環として「沖小歌舞伎」の名称で歌舞伎上演に取り組むことになりました。

沖小歌舞伎は、古田歌舞伎の後継者育成ということよりも、学校のある地域に伝わる郷土芸能を学習することとして位置づけられ、古田地区の

子どもたちだけでなく沖庭小学校の小学5年生が、古田歌舞伎を学び、その成果を学習発表会などで披露したのです。

昭和63年から沖庭小学校が閉校となった平成25年までの26年間にわたってこの活動は続けられました。そして今、沖小歌舞伎を経験した若者たちが、10数年の時を経て古田歌舞伎の舞台に役者として、三味線として立ち、それぞれの役を演じています。

加わる多様な力

少子高齢化、人口減少が加速度的に進行する中、古田歌舞伎を取り巻く環境も大きく変わり古田地区だけで継承していくことが難しくなっています。このため、古田歌舞伎保存会では地区外の若者を役者として募集しながら、古田歌舞伎の後継者の育成に向けた取り組みを進めています。今年の古田歌舞伎に役者や



木村 結衣 さん

義太夫、三味線として出演した15人のうち実に半数の8人が地区外の力でした。こうした力が集まったことにより10月の古田歌舞伎公演では、昭和61年に復興してから初めてとなる3演目が上演されました。これも、古田歌舞伎保存会が多様な力を結集したことでなし得た1つの成果であると言えます。

沖小歌舞伎を経験し、今年から古田歌舞伎に役者として参加した木村結衣さん（あけぼの）は、「2年前の公演を見て、古田地区以外の若い人も出ていることを知り、今年から役者として参加しました。練習は7月から始まりましたが、勤務の都合で初めは他の役者と一緒に練習することができず、また、歌舞伎特有の発声がうまくできなくて、公演が近付くにつれ不安

と焦りがありました。公演後にリハーサルなども見に来てくれた古田のかたに本番が一番良かったと言われ、とてもうれしかったです。また、公演当日には練習などで会うことのなかった古田地区のかたがたや役者の親族などがスタッフとして参加し、60人を超える大勢の人の手によって舞台が支えられていることに驚きました。こうした地域の伝統芸能をなくさないため、今後参加し多くの人に見てもらえるようになればと思っています。」と話してくださいました。

古田生まれの役者3年目となる木村元気さんは、「3年前の公演を手伝いに行ったときに、『来年は役者で』と地区のかたに誘われて役者にな



古田歌舞伎公演には地区内外の多くのバックアップがある

りました。歌舞伎が小さいころから身近にあったので、珍しいというよりも当たり前にあるものでした。役者1年目の練習の時には、このまま続けていけるのかと思ったこともありました。本番の舞台ではたくさんの観客のかたから大きな拍手をもらってとても気分が高まり、達成感でい

特集 古田歌舞伎を受け継ぐ多様な力



木村 元気 さん

っぱいでした。昨年まで、本番中は緊張していたのですが、3年目の今年は舞台上で楽しみながら自分の役を演じることができました。古くから自分の住む地区に伝わる伝統をこれから先も残していければいいと思いますが、地区内に若い人がほとんどいないというのが現実ですので、今後様々な人の協力をいただきながら『古田歌舞伎』を残していきたいです。」と話してくださいました。

ここ数年の間、古田歌舞伎にはこうした若者たちが関わりながら、若い世代への伝統の継承が進められています。さらに、町内の若者のほかに首都圏などから本町に移り住んで活動している「地域おこし協力隊」や「緑のふるさと協力隊」も積極的に古田歌舞伎に参加しており、今年は、4人の協力隊全員が出演しました。



緑のふるさと協力隊 山中 那智 さん

平成25年度から歴代隊員が出演をしている緑のふるさと協力隊の山中那智（なち）さん（舟渡在住）は、「もともと何にでも興味を持って取り組む性分なのですが、伝統芸能にも興味があり、小国町に歌舞伎があるということを知ってやってみたいと思うようになりました。当初は、体験する感覚で参加したことで、古田地区のかたがたの歌舞伎に対する熱い思いに自分とのギャップを感じましたが、練習を重ねるうちに私にもそうした熱が出てきました。今回経験したことで、歌舞伎は何年も続けることで、自分が納得いく演技ができるものだと思います。私は初めての経験でし

たので、歌舞伎の基礎を学んでやり遂げたという感覚ですが、歌舞伎を通して多くの人と交流し、つながりを持ってたことが大変良かったです。よそから小国町に来た立場としては、町の中に歌舞伎があるということはとても魅力的だと思います。現在は年1回の公演ですが、多くの役者が集まれば、年に数回公演を行ったり町外で公演したりして、『古田歌舞伎』という名を広く知ってもらうきっかけを作り、さらに多くのかたに参加をしていただきながら、この素晴らしい伝統芸能を残していってほしいと思います。」と話してくださいました。

伝統を次の世代に

古田歌舞伎保存会の会長を務める木村公弘さんは、「古田歌舞伎はこれまで地区の人たちが伝統的に受け継いできましたが、人口減少・少子高齢化という社会の流れの中

で、この先のことを考えた時に不安を覚え、保存会での話し合いで役者などの協力者を広く募集することになりました。ここ数年で若い人たちが役者として参加していただけるようになり、練習後やスタッフの集まりではこれまでとは違った雰囲気になり、活力が蘇ったように感じています。今後も、古田歌舞伎を残していくために、町全体から多くの役者や協力者を募っていききたいと考えています。」と話してくださいました。

古田歌舞伎は社会環境の変化にほんろうされながらも、後世に伝えていくために、その時の人々がどのように対応していくべきかを考え挑戦し続けてきました。その根底には常にふるさとの先人たちが残してきた心と技を、大切に残していこうとする熱い思いがあったのです。古田歌舞伎は人口減少がその存続を難しくすることに對して、地元の人々が多様な力を結集して果敢に受け継いでいこうとしている事例と言えるでしょう。

お知らせします

小国町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、職員数、給与、勤務条件等の状況について、その概要をお知らせします。なお、詳細は町ホームページで公開しています。(http://www.town.oguni.yamagata.jp)

■主な職員手当の状況（一般職）

（平成29年4月1日現在）

扶養手当	・配偶者 10,000円/月 ・子ども1人につき8,000円、その他6,500円 （満16歳から22歳までの子につき5,000円加算）						
住居手当	・借家 月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、27,000円/月を限度に家賃に応じて支給						
通勤手当	通勤距離2.0km以上を対象に支給 ・交通機関等利用の場合 運賃等相当額 限度額55,000円/月 ・自動車等利用の場合 距離数に応じて支給 2,500円～30,900円/月						
期末勤勉手当	基準日（6月1日、12月1日）に在職する職員に支給 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>期末手当</td> <td>勤勉手当</td> </tr> <tr> <td>・6月期 1.225月分</td> <td>0.85月分</td> </tr> <tr> <td>・12月期 1.375月分</td> <td>0.85月分</td> </tr> </table> ※3級以上の職員に対し、職務の級に応じて5%～15%の加算措置有り	期末手当	勤勉手当	・6月期 1.225月分	0.85月分	・12月期 1.375月分	0.85月分
期末手当	勤勉手当						
・6月期 1.225月分	0.85月分						
・12月期 1.375月分	0.85月分						

（各年度一般会計決算）

時間外勤務手当	区分	支給総額	1人当たり平均支給額
	27年度決算額	43,878千円	477千円
	28年度決算額	35,077千円	362千円

（平成29年4月1日現在）

退職手当	自己都合	勤奨・定年
	勤続20年	20.4450月 25.55625月
	勤続25年	29.1450月 34.58250月
	勤続35年	41.3250月 49.59000月
	最高限度額	49.5900月 49.59000月

※定年前早期退職者に対して2%～45%の加算措置有り



■特別職の報酬の状況

（平成29年4月1日現在）

		月額	期末手当
給料	町長	810,000円	6月期 1.55月分
	副町長	630,000円	12月期 1.65月分
	教育長	560,000円	合計 3.2月分
報酬	議長	310,000円	6月期 1.55月分
	副議長	250,000円	12月期 1.65月分
	議員	235,000円	合計 3.2月分

※特別職の期末手当は、給料月額に35%加算したものに支給割合を乗じます。

■勤務時間（標準的なもの）

（平成29年4月1日現在）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り			週休日
	始業時間	終業時間	休憩時間	
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00	土曜日・日曜日

■休暇制度の概要

有給 年次有給休暇・病気休暇・特別休暇（結婚、出産、忌引き、夏季休暇、社会奉仕活動など）
無給 介護休暇・組合休暇

■問合せ先 総務企画課行政管理室（☎62-2112）へ

町職員の給与・人事行政の内容を

■採用の状況

(平成29年4月1日)

	男	女	合計
一般行政職	4人	1人	5人
医師職	0人	1人	1人
医療技術職	1人	0人	1人
合計	5人	2人	7人

■退職の状況

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

	男	女	合計
定年退職	1人	2人	3人
勸奨退職	0人	1人	1人
普通退職	2人	1人	3人
合計	3人	4人	7人

■職員数の状況

(平成29年4月1日現在)

	一般行政職	税務職	医師職	医療技術職	看護保健職	福祉職 (保育・介護)	企業職	技能労務職	その他教育職	合計
28年度	92人	7人	4人	15人	45人	13人	2人	5人	1人	184人
29年度	95人	7人	5人	18人	43人	13人	2人	5人	1人	189人
増減	3人	0人	1人	3人	-2人	0人	0人	0人	0人	5人

※町長、副町長、教育長を除いた人数です。

■一般行政職の級別職員数の状況

(平成29年4月1日現在)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
標準的な職務	主事補・主事	主任	主任・係長	主査	室長	課長
職員数	22人	15人	25人	6人	14人	13人
構成比	23.2%	15.8%	26.3%	6.3%	14.7%	13.7%

■人件費の状況

(平成28年度一般会計決算)

住民基本台帳人口 (平成29年3月末)	歳出総額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	27年度人件費率
7,887人	6,338,669千円	843,439千円	13.3%	13.7%

■職員給与費の状況

(各年度一般会計当初予算)

区分	職員数(A)	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計(B)	
28年度	108人	389,175千円	88,083千円	144,720千円	621,978千円	5,759千円
29年度	111人	403,794千円	72,933千円	155,766千円	632,493千円	5,698千円

■平均給料月額・平均年齢

(各年度4月1日現在)

区分	平成28年度			平成29年度		
	平均年齢	平均経年数	平均給料月額	平均年齢	平均経年数	平均給料月額
一般行政職	40.6歳	19.1年	300,400円	40.6歳	19.0年	297,800円
技能労務職	45.9歳	24.3年	263,400円	46.9歳	25.3年	267,300円

■初任給の状況

(平成29年4月1日現在)

		小国町	国
一般行政職	大学卒	178,200円	178,200円
	高校卒	146,100円	146,100円
技能労務職	高校卒	143,500円	—

■ラスパイレス指数の水準

(各年度4月1日現在)

	26年度	27年度	28年度
小国町	93.1	94.2	94.4
県内町村平均	96.8	97.3	98.2
全国町村平均	95.6	95.8	96.3

※ラスパイレス指数は、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数です。



身体のおまで響き渡る ～鼓童の交流学校公演～

新潟県佐渡市を拠点に世界で活躍している「太鼓芸能集団鼓童」の交流学校公演が、11月17日、小国小学校アリーナで開催され、町内小中高生や多くの町民が来場しました。

公演では鼓童メンバーによる太鼓の演奏や小学生から高校生までが実際に体験するワークショップなどが行われました。会場に詰めかけた観客は、魂のこもった気迫あふれる鼓童の演奏に圧倒されながら、大きな拍手と歓声を送りました。



スポーツ公園にサクラ植樹 ～最上川さくら回廊～



山形新聞、山形放送が主催する最上川を中心に美しい桜並木づくりを行っている「最上川さくら回廊」が、11月4日、町総合スポーツ公園で行われ、5団体、8家族49人が参加しました。

この日は、町民の花となっている「オオヤマザクラ」合計15本をスポーツ公園陸上競技場南側に植樹しました。

雨が降る中の植樹でしたが、参加者は、団体・家族ごとにわきあいあいとした雰囲気、自ら植樹した満開のサクラの下で花見ができることを期待しながら、これから成長して大きくなるサクラに自分の願いを込めて作業を進めていました。

芸術が小国の秋を彩る ～白い森芸術祭2017～

9月30日から12月3日までの65日間を白い森芸術祭2017として設定し、町内各所で様々な展示会や公演、コンサートなどが行われました。

11月3日から5日まで、町民総合体育館で開催された作品展示では、町民のかたがたが手掛けた生け花や書画、絵画などが展示され、3日間で約600人が来場しました。また、11月4日には本町杉沢出身の山遊亭金太郎師匠による寄席が開催され、町内の子どもたちによる子供落語のほか、柳亭明楽（りゅうていめいらく）氏の落語、新山ひでや・やすこの息の合った夫婦漫才、金太郎師匠の落語が披露され、会場は大きな拍手と笑い声につつまれました。



チームの思いをたすきにのせて ～第59回西置賜地区駅伝競走大会～

第59回西置賜地区駅伝競走大会が、11月5日に行われ、小国町をスタートして飯豊町、白鷹町、長井市の計12区間49.7kmのコースで競われました。各選手は練習の成果を発揮し精一杯の走りをみせ、チームの思いをたすきでつないでゴールを目指しました。沿道では、住民や応援にかけつけた家族などが疾走する選手に大きな声援を送っていました。

結果は、優勝が長井市、2位が白鷹町、3位が小国町、4位が飯豊町となりました。



「走りきった！！」

地域おこし協力隊 ^{みやざき} 宮崎 ^{みほ} 美穂

雨にみぞれが混じり、静かに忍び寄る冬の気配。一層白くなる息と、重くたれこむ雲が私たちにそれを知らせます。秋はイベント尽くしでした。10月17日は五味沢共生会の坊ちゃんかぼちゃの看板を地域

の方と作成し、五味沢地区に飾りました。22日はアスモのハロウィン。『MOTTAINAIコーナー』という新企画もあったのですが準備で慌ただしく、もっと広報すれば良かったなと反省しているところです。28日は待ちに待った古田歌舞伎の公演！約200人のかたにご来場頂き、厳しい稽古の成果をご覧頂きました。これからも末永く歴史を刻んで行って欲しいです。11月5日の鍋まつりでは、初の甘味鍋へちょこ汁粉を出しました。たかきび粉を入れた白玉が綺麗でした。ひと息ついて、また走り出します！



「叶水小中学校文化祭・ふるさと祭り」

地域おこし協力隊 ^{ねもと} 根本 ^{しゅんすけ} 俊輔

雪！雪に驚き、楽しみ、大変さなど様々な思いを日々感じています。雪ではしゃいだと「楽しいのは最初だけ。すぐに雪が嫌になるよ！」と言われますが、僕はずっと楽しもうと思います。

さて、10月29日に叶水小中学校で文化祭とふるさと祭りがありました。小学生の「貧乏神」、中学生のいろんな視点からの「桃太郎」の演劇。どうなるんだろうと先の展開にわくわくし、中学生の桃太郎では、そうだったんだ！と新発見もありました。そして東部地区で劇といえば劇団KOZACCOです。僕も出演しましたが、なんとというか、とにかくKOZACCOすげえ。ずーっと笑ってしまいました。さすがKOZACCO！



羽越水害から50年
災害の爪痕をたどって
その⑧



▲越戸集落離村式・越戸分校閉校式（昭和43年11月26日）

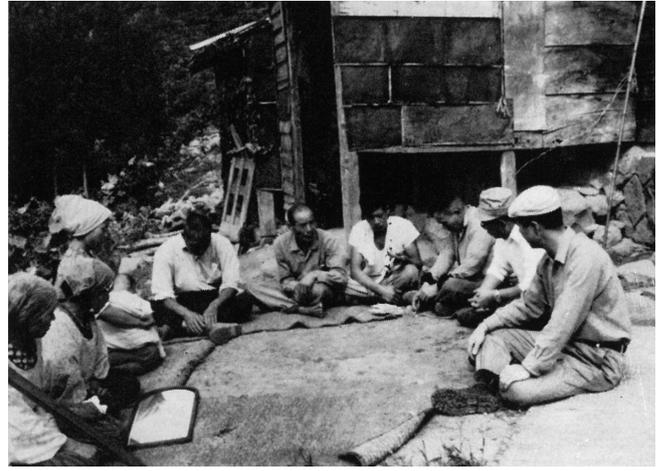
羽越水害がもたらした大きな被害によって、それまで住んでいた土地から離れることを余儀なくされた集落があります。それが「越戸集落」です。

羽越水害の記録をおみずによると「新潟県寄りに位置する越戸部落は、俗に飛び地といわれ、新潟県関川村金丸駅から徒歩で約4キロの地点にあるが、部落にいたる道路はいたる所で決壊、流失、とくに部落の裏山から流れる崩れ沢の土石流が物すごい状態で流出し、5町余の田畑の約半分を埋没してしまった。かろうじて、越戸分校を含む6戸の住家は直接被害をまぬがれたが、道路の機能をなくし、半分の田畑が土に埋もれ、かつ灌がい不可能となったので、水田の耕作を続けることはきわめて困難となった。部落民は、この復旧が非常に困難を伴うものであること、そして将来この地にとどまることが住民の幸せにつながるものではないという判断にたつて、ついに全戸山を下りる決意をし、このことについて9月21日に町災害対策本部を訪れ、集団移転についての相談をすることになった。（中略）災害当時の越戸部落は、小国小学校越戸分校が置かれ、（教員1名、児童3名）住家戸数は5戸人口23人であったが、昭和26年当時は6戸、50人の住民が居たものの、新しい生活を求め人々は年々山を下って、やがては全戸下山の運命にあったもので、これが水害という大きなきっかけをえて一挙に離村に踏み切ることになったものである。」と記されている。

新しい生活が将来の幸せを約束するかもしれない、とはいえ、それでも慣れ親しんだ山を下りることはつらかったに違いない。



▲水害により裏山の崩れ沢から流れ込んだ土石流



▲離村について話し合う住民と今町長



▲離村の対策を練る越戸住民たち



▲閉校式・離村式に臨む住民たち



◀児童と共に越戸分校の看板を下ろす先生



▲越戸集落の離村を惜しむ人々

平成29年度文化の日表彰式 羽越水害50年記念表彰式

平成29年度文化の日表彰式・羽越水害50年記念表彰式を11月3日、おぐに開発総合センターで開催し、本町の振興発展に貢献された14人、23団体を表彰しました。また表彰式後に、一般財団法人地域活性化センター事務局長佐藤啓太郎氏による記念講演会を行いました。表彰内容と受賞者は次のとおりです。

【文化の日表彰】

■功労表彰

井の下土地改良区 理事長

渡部 清司 氏（町原）

平成3年から井の下土地改良区理事として、また、平成18年から理事長として幹線用水路等主要施設の修繕及び整備工事に取り組みとともに、安定的な財政基盤の構築に努め、井の下土地改良区の持続的発展と本町の農業振興に貢献されました。

株式会社旭林業代表取締役

横山 利幸 氏（杉沢）

平成22年に山形県林業労働災害防止協会山形県支部小国分会長に就任し、林業の労働災害防止に取り組みとともに、林業機械の充実を図り林業従事者の育成並びに素材生産事業の拡大に努め本町の林業振興に貢献されました。

八幡 昇 氏（岩井沢）

平成19年から9年間にわたり、町岩地区流雪溝組合連合会会長を務められるとともに、この間、兵庫館地区並びに駅前通り地区に新たに組合設立を誘導し、さらに、連合会への加入促進を図り、市街地における克雪事業の推進に貢献されました。

■永年勤続表彰

民生委員・児童委員（12年以上）

加藤登志子 氏（岩井沢）

駐在員（10年以上）

栗田 宏二 氏（足水中里）

渡邊万知子 氏（樽口）

伊藤 守 氏（下叶水）

交通指導員（10年以上）

竹田百合子 氏（小国小坂町）

農業振興組合長（10年以上）

栗田 宏二 氏（足水中里）

齋藤友美雄 氏（五味沢）

島貫 久壽 氏（市野沢）

齋藤 恒助 氏（緑町）

木村 梅雄 氏（針生）

伊藤 信雄 氏（五味沢）

【羽越水害50年記念表彰】

■感謝状

・国土交通省北陸地方整備局
飯豊山系砂防事務所

・国土交通省北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

・国土交通省東北地方整備局
山形河川国道事務所

・国土交通省東北地方整備局
山形河川国道事務所
米沢国道維持出張所

・林野庁東北森林管理局
置賜森林管理署

・山形県置賜総合支庁
建設部小国分所

・山形県小国警察署

・小国町消防団

・東日本旅客鉄道株式会社小国駅

・東北電力株式会社

・小国サービスセンター

・N T T 東日本山形支店

・小国町商工会

・山形おきたま農業協同組合小国支店

・小国町米穀商業協同組合

・小国町森林組合

・小国町建設業組合

・小国町建築組合

・クアーズテック株式会社

・小国事業所

・日本重化学工業株式会社

・小国事業所

・山形県立小国高等学校

・山形県立小国高等学校
基督教独立学園高等学校

・小国町立小国中学校

・小国町立小国小学校

・小国町立叶水小中学校

■褒状

・山形県立小国高等学校
基督教独立学園高等学校
小国町立小国中学校
小国町立小国小学校
小国町立叶水小中学校





平成29年度西置賜農業フォーラムが、11月17日、長井市で開催され、本町で畜産経営を行う遠藤和彦さん・寛壽（かんじゆ）さん親子（大宮）が西置賜農業賞を受賞しました。この賞は、地域の資源と環境を活用しながら農業の生産性と所得を向上させ、農家の生活向上と農村地域の振興などに功績のある農業者に贈られるものです。

遠藤和彦さん・寛壽さんが西置賜農業賞を受賞



寛壽さん 和牛共励会で優秀賞1席受賞

遠藤さん親子は、平成21年に家族経営協定を締結し、和彦氏が肥育部門を、寛壽氏が繁殖部門を担当しながら和牛繁殖・肥育の一貫経営を確立しています。また、自給粗飼料の生産では、町内で先駆的にホールクロップサイレージを栽培し、循環型農業の実践に取り組んでいるなど、本町の畜産振興に貢献されていることが評価されたものです。

白い森まるごと塾 vol.2

OGUNI・de・フレンチ

2回目の白い森まるごと塾は、「OGUNI・de・フレンチ」と題し、小国産食材の魅力の掘り起こしを図るとともに、新たな特産品開発や町内飲食店等における新メニュー開発につながるため、都内の一流オーナーシェフに小国の山菜やキノコなどの食材を使ったフランス料理を提供します。

- 日時 12月11日(月)18:30~20:30
- 場所 道の駅白い森おぐに 旬菜レストラン あいあい
- 内容 「小国食材を使ったカジュアルフレンチ」 カジュアルなコース料理の提供
- 講師 Bistro COLORIS オーナーシェフ 川瀬 彩 氏
- 参加費 3,000円/人
- 定員 30人（座席の関係上、2人1組でお申し込みください。）
- 対象 小国町民および町内に勤務しているかた
- 申込締切 12月5日(火)まで
- その他 参加希望者多数の場合、抽選のうえ参加の可否についてご連絡をいたします。
- 申込・問合先 総務企画課白い森ブランド戦略室 (☎87-0821) へ

平成30年度中央児童室 利用申込受付について

■対 象

平成30年4月から中央児童室の利用を希望するかた（現在利用中のかたも申込みが必要です。）

■申請書

12月1日から中央児童室、教育振興課、各保育園、健康福祉課にて受け取れます。

■申込期間

12月11日(月)～15日(金)
【18:00まで受付しています】

■申込場所

教育振興課（おぐに開発総合センター）
※昨年と申込場所が変更になります。

■提出書類

「小国町中央児童室入所申請書」及び必要書類

■定 員 70人

※申込者が定員超過の場合、家庭で保育できない程度を判断するとともに、低学年を優先して入所決定いたします。

■申込・問合せ先

教育振興課（☎62-2141）へ

奨学金の貸与を受けている 若者の本町回帰を支援します (市町村連携枠)

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため県と連携して奨学金の貸与を受けている学生等に対し、奨学金返済支援事業を実施しています。

■対 象

①山形県内に居住し県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を卒業したかたで、②国内に所在する大学等に在学中で、③日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けているかた、または受ける予定のかた

■助成内容

大学等を卒業し、6カ月以内に山形県内に居住して県内に就業し、かつ3年以上居住、就業を続けた場合に、奨学金返済残額に対し助成します。（※上限額があるほか、この他にも条件がありますので応募の際にご確認ください。）

■募集期間 12月22日(金)まで

■問合せ・応募先

総務企画課政策企画担当
(☎62-2264) へ

入札結果情報（平成29年10月21日～平成29年11月20日実施）

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期 (完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H29.10.23	平成29年度移動通信用鉄塔施設整備事業 百子沢地区鉄塔建設工事	百子沢	H29.12.25	26,319,000	日本コムシス(株) 東北支店	26,200,000
H29.10.23	平成29年度おぐに開発総合センター周辺 地形測量業務委託	岩井沢	H29.11.30	4,370,000	(有)小国測量設計 事務所	4,300,000
H29.10.30	平成29年度社会資本整備総合交付金事業 町道箱の口下叶水線落合橋橋梁補修工事	綱木箱口	H30.1.19	31,116,000	安部工業(株)	30,400,000
H29.11.16	平成29年度町営住宅幸町団地(46-2-13・ 14)解体工事	幸町	H29.12.25	3,041,000	(株)横川建設	3,000,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第1工区)	舟渡以北	H30.3.31	12,417,000	(株)高橋工務店	12,200,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第2工区)	金目・貝少外	H30.3.31	8,840,000	(株)船山工務店	8,700,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第3工区)	小渡・増岡外	H30.3.31	12,486,000	白洋社産業(株)	12,400,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第4工区)	西・幸町外	H30.3.31	13,442,000	(株)横川建設	13,300,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第5工区)	岩井沢・あけぼの外	H30.3.31	15,195,000	小国開発(株)	15,000,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第6工区)	東原・伊佐領外	H30.3.31	14,235,000	安部工業(株)	14,000,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第7工区)	東部一帯(下叶水線・白沼除)	H30.3.31	9,100,000	山和建設(株)	9,000,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第8工区)	南部一帯	H30.3.31	9,697,000	玉川開発(株)	9,500,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第9工区)	沼沢一帯	H30.3.31	9,049,000	遠藤建設(株)	9,000,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第10工区)	癒しの園	H30.3.31	3,631,000	斎藤建設(株)	3,600,000
H29.11.20	町道除排雪作業業務委託(第11工区)	なごみ団地	H30.3.31	3,879,000	大和建設運輸(株)	3,850,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

*****平成30年4月からの新入園児を募集します*****

- 申込期間** 平成29年12月11日(月)～15日(金)【18：00まで受付しています】
- 申請書** 12月1日(金)から健康福祉課、各保育園にて配布します。
- 申込方法** 新たに利用を希望するかたは、申込書と必要書類（詳細は配布時に説明します。）を提出してください。（※現在入所している保育園で平成30年度も継続を希望するかたは、今回の申込みは不要です。1月に「現況届」を提出していただきます。別途お知らせします。）



保 育 所

■申込先 健康福祉課へ

施設名	認定区分	定員	対象児童 (H30.4.1現在)	開所時間 (延長保育含む)	
				平日	土曜日
白百合保育園	2・3号	80人	0～5歳	7：00～19：00	7：30～17：30
おぐに保育園	2・3号	60人	0～5歳	7：00～18：00	7：30～18：00 (第1・3・5) 7：30～12：30 (第2・4)

認定こども園

■申込先 1号認定希望者はすみれ保育園へ、2・3号認定希望者は健康福祉課へ

現在の施設名	認定区分	定員	対象児童 (H30.4.1現在)	開所時間 (延長保育含む)	
				平日	土曜日
すみれ保育園	1号	6人	3～5歳	9：00～14：00 (14：00以降預かり保育)	休園 (預かり保育可)
	2・3号	100人	0～5歳	7：15～19：15	7：15～18：15

【保育所等を利用する場合の認定区分】

認定区分	対象者	主な利用施設・事業	利用できる時間
1号認定	3歳以上のお子さんで、保育を必要とせず教育を希望する場合	幼稚園 認定こども園 (教育部分)	教育標準時間認定 (最低4時間/日)
2号認定	3歳以上のお子さんで、「保育を必要とする事由」に該当し、保育を希望する場合	保育園 認定こども園 (保育部分)	保育標準時間認定 (最大11時間/日) 保育短時間人定 (最大8時間/日)
3号認定	3歳未満のお子さんで、「保育を必要とする事由」に該当し、保育を希望する場合	保育園、認定こども園 (保育部分)、小規模保育、家庭的保育、事業所内保育	

■**保育料 (保育園・認定こども園) について**

町が定める基準に基づき、保護者の課税状況 (父母合算) と児童の年齢により決まります。

■**問合せ先** 健康福祉課 (☎61-1000) へ

*****認定こども園説明会*****

平成30年4月よりすみれ保育園が幼保連携型認定こども園に移行することから説明会を開催します。どなたでも参加できます。

■**日時** 12月5日(火)19：00～

■**場所** すみれ保育園

■**問合せ先** 社会福祉法人愛育福祉会すみれ保育園 (☎62-5284) へ



募集

横根スキー場 季節従業員募集

- 職種 乗客係・改札係・出札係
- 採用人数 若干名(年齢・性別不問)
- 雇用期間 横根スキー場開設期間
- 応募方法 履歴書(写真添付)を郵送してください。
- 申込締切 12月11日(月)
- 問合せ 〒999・1361 小国町大字米町30 おぐに白い森(株) (☎62・4518)へ

町営住宅入居者募集

- ①町営住宅小坂町団地
3DK 1戸(4階)
- 家賃 所得と家族構成による
- その他 所得制限あり
- ②町営住宅あけぼの団地
2DK 1戸(1階)
- 家賃 所得と家族構成による
- その他 所得制限あり
- ③あけぼの高齢者団地

- 1LDK 1戸(1階)
- 家賃 所得と家族構成による
- 対象

- ▽世帯所得が21万4千円以下で住宅に困っているかた
- ▽60歳以上のかたで自立した生活をおくることができ、同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること

県営住宅入居者募集

- ④小坂町勤労者住宅
2DK 1戸(3階)
- 家賃 38000円
- 対象 町内事業所にお勤めのかた
- ①〜④共通
- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期限 12月11日(月)
- 入居時期 12月下旬以降
- ◎問合せ 地域整備課建設管理室 (☎62・2431)へ
- 募集住宅 3DK 7戸
- 家賃 所得により決定
- 対象 入居世帯の所得制限あり
- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期間 12月4日(月)〜12月8日(金)
- 入居時期 2月上旬

ご案内

- 申込先 置賜総合支庁西庁舎(長井市)総合案内窓口
- 問合せ 県営住宅指定管理(株)西王不動産置賜事務所 (☎0238・24・2332)へ

「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)のご案内

- 「国の教育ローン」は高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学等に入学・在学するお子さまをお持ちのご家族を対象とした公的な融資制度です。
- 融資額 350万円以内
- 金利 年1・76%(母子家庭のかたなどは1・36%)(平成29年11月10日現在)
- 返済期間 15年以内
- HP 「国の教育ローン」で検索
- 問合せ 教育ローンコールセンター(☎0570・008656(ダイヤルナビ)または03・5321・8656)へ

お知らせ

小国町立病院耳鼻いんこう科 診療時間の変更について

小国町立病院耳鼻いんこう科の診察時間が12月1日(金)から変更になります。ご利用のかたはご注意ください。

- 変更前
- 受付 12時30分〜16時30分
- 診療 13時30分〜17時
- 変更後
- 受付 12時30分〜16時
- 診療 13時30分〜16時30分
- その他 16時まで待合室にお越しください。
- 問合せ 小国町立病院 (☎61・1000)へ

議会中継システムが モバイル対応になります

これまで議会中継はパソコン上のみ視聴可能でしたが、12月定例会からスマートフォンなどのモバイル端末でもご覧いただけるようになります。

■問合せ 議会事務局 (☎62・2448)へ

12月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 12月15日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成29年8月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 12月15日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成28年12月生まれ

■1歳6カ月児健診

- ・期 日 12月8日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成28年4月、5月、6月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■12月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ) 12/29~1/3はお休み	不要

■対象者 なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合せ 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

12月3日(日)	南陽	加藤歯科医院(宮内)	0238-47-2216
12月10日(日)	米沢	プリリー歯科クリニック	0238-22-4182
12月17日(日)	米沢	万世歯科クリニック	0238-28-0820
12月23日(土)	長井	赤間歯科医院	0238-88-2218
12月24日(日)	米沢	中條歯科医院	0238-24-2085
12月31日(日)	米沢	高橋歯科医院	0238-23-8888
1月1日(月)	川西	安川歯科クリニック	0238-54-0210
1月2日(火)	長井	えんどう歯科クリニック	0238-84-1088
1月3日(水)	米沢	五十嵐歯科医院	0238-22-1121

求 人 情 報

右の表は11月17日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
国土交通省北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所	(臨) 事務補助	1人	8:30~17:15
UTエイム(株) 新潟キャリアセンター	(派) 半導体用治具の製造 マシンオペレーター	4人	8:20~16:50他
	(派) 半導体用治具の製品検査	1人	8:20~16:50他
	(派) 現場事務	1人	8:20~17:10
ひさご電材(株)小国工場	電線のアッセンブリー及び検査	5人	8:30~17:30
(有)小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	1人	8:00~17:00
安部工業(株)	現場監督員	2人	8:00~17:00
	運転手	2人	
	型枠大工	1人	
(株)山芳工務店	電気設備工(見習い)	3人	9:00~18:00
遠藤建設(株)	重機オペレーター	1人	8:00~17:00
(有)東部開発	農作業員	1人	8:00~17:00
クアーズテックマシナリ(株)	技能職	2人	8:20~17:10
太平ビルサービス(株) 置賜営業所	(請) 日常清掃係「小国町 ~飯豊町」	1人	9:30~13:45

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税 2017.12

12月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●12月26日(火) 水道料

●12月25日(月) 固定資産税、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料

●1月4日(木) 介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

JR米坂線踏切の冬期通行止め

下記の踏切について、11月30日(木)から平成30年4月6日(金)まで通行止めとなります。(朝篠踏切、増岡踏切は3月23日(金)まで)

■全面通行止めの踏切

霜下踏切（綱木箱口）、松坂踏切（伊佐領）、木落踏切（町原）、滝沢踏切（日本重化学工業(株)前）、増岡踏切（幸町）、赤芝踏切（赤芝峡）

■車両通行止めの踏切 朝篠踏切（朝篠）

■問合せ先 地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ

相 談

▽年金相談

- 日 時 12月13日(水)
10:30～14:00
- 場 所 役場
- 対応者 米沢年金事務所職員
- その他 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

◇納税相談◇(休日◇夜間◇)のお知らせ◇

仕事の都合などにより、平日の日中に税金や保険料の納付にかかる相談を行うことが困難なため、休日・夜間納税相談窓口を設置します。この機会にぜひご利用ください。

◎受付内容 町県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付と納付にかかる相談

◎休日納税相談日

■日時 12月10日(日)9:00～16:30

◎夜間納税相談

■期間 12月11日(月)～14日(木)の4日間

■時間 17:30～20:00

◎場 所 小国町役場町民税務課

◎その他 お越しの際は、役場正面玄関からお入りください。

◎問合せ先 町民税務課収納担当（☎62-2403）へ

地域企業等人材確保支援事業

町内企業等が町外から転入したかたを新規雇用した場合に、企業等に補助金を交付します。該当になるかたを雇用している企業等は申請をしてください。なお、申請は随時受付しています。

■対象 転入者を雇用した企業等

■支給額

1人あたり5万円または7万円

■申請方法 転入者を雇用した企業等は、申請書に添付書類を添えて産業振興課に申請してください。

■添付書類 新規雇用者の雇用保険被保険者資格取得通知書の写し等

■申請・問合せ先

産業振興課（☎62-2416）へ

年末年始の休館情報等について

	水 道	町立病院	ゴミ収集	小国中継施設 (リレーセンター)	町民体育館 あいべ	総合センター
12月29日(金)	清水設備 (☎67-2127)	休診	一部地域の のみ収集	通常営業	休館	温泉のみ
12月30日(土)	山一住設(株) (☎61-0123)	休診	休み	休み	休館	温泉のみ
12月31日(日)	小関住宅設備 (☎62-5347)	休診	休み	休み	休館	休館
1月1日(月)	パイプライン (☎62-2461)	休診	休み	休み	休館	休館
1月2日(火)	津島屋電機店 (☎62-2404)	休診	休み	休み	休館	休館
1月3日(水)	設備佐藤 (☎62-5606)	休診	休み	休み	休館	休館
問合せ先	地域整備課 建設管理室	町立病院 ☎61-1111	町民税務課 町民生活担当	小国中継施設 ☎63-2251	町民体育館 あいべ	総合センター ☎62-2141

※温水プールは、強風により屋根が破損したため、当面の間休館いたします。温水プール（☎62-4248）

※町立病院では急患について、一般外来休診中でも対応します。

※町民体育館とあいべは、12月28日(木)清掃作業のため休館になります。



- 小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
- 行政管理室・情報危機管理室 ☎62-2112
- 企画財政室 ☎62-2264
- 白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 税金管理室 ☎62-2403
- 商工観光室 ☎62-2416
- 農林振興室 ☎62-2408
- 会計室 ☎62-2406
- 建設管理室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432
- 議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(10月届出分)

誕生おめでとうございます。

- 岩井 沢 塚 原 蒼 翔 (陽 子)
- 岩井 沢 斎 藤 歩 鳥 (晴 美)
- あけぼの 野 澤 潤 未 (浩 二)
- 幸 町 濱 田 美 弦 (奈 俊)

おくやみ申し上げます。

- 五味 沢 齋 藤 利三郎 (82)
- 舟 渡 塩 川 はる (98)
- 岩井 沢 伊 藤 トメ (94)
- 白子 沢 遠 藤 利子 (77)
- 岩井 沢 加 藤 みつ (100)
- 叶 水 井 上 信也 (81)
- 小国小坂町 加 藤 さだ江 (95)
- 緑小坂町 加 渡 邊 令三 (81)
- 小 玉 川 渡 邊 正 義 (77)
- 緑 北 町 片 桐 廣 也 (59)
- 北 小 川 と 廣 也 (97)
- 増幸 岡 永 井 榮 (84)
- 岩井 沢 内 山 瀧 子 (86)
- 増沼 岡 斎 藤 修 平 (68)
- 沢 沢 舟 山 アツ子 (87)
- 島 貫 光 儀 (91)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成29年10月31日現在)

人口 男・・・3,872人(－7)
 女・・・3,940人(－15)
 計・・・7,812人(－22)
 世帯数 3,091世帯(－3)

県立小国高校活動報告会・ チャレンジショップのお知らせ

【活動報告会】

- 日時 12月15日(金)18:15~19:30
- 場所 おぐに開発総合センター
- その他 岩手県立花泉高校生徒会のみなさんも参加します

【チャレンジショップ】

- 日時 12月23日(土)10:00~14:00
- 場所 ショッピングセンターアスモ内
- 問合先 県立小国高等学校 (☎62-2054) へ



12月の あいベイイベント

小学生冬休みスポーツ教室 第1弾「ニュースポーツ教室」



- 日時 12月27日(水)9:30~11:30
- 対象者 小学生
- 持ち物 室内シューズ、飲み物
- 参加費 1人100円(保険料込)
- 申込締切 12月21日(木)

第11回3×3バスケットボール大会

- 日時 12月17日(日)8:30~
- 場所 町民総合体育館
- 対象 中学生以上男女(3人以上・個人も可)
- 参加費 中高校生500円/人(保険料込)
一般1,000円/人(保険料込)
会員800円/人
- 申込締切 12月12日(火)

■申込・問合先
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

総合センター図書室から

～新着図書～

- ◇影裏
- ◇日の名残り
- ◇窮鼠の一隻
- ◇弁当づくりで身につく力
- ◇16歳の語り部

休館日 毎週月曜日・祝日

沼田 真佑
カズオ・イシグロ
河合 敦
竹下 和男
佐藤 敏郎・監修

編集後記
今年も残すところあと1カ月。1年が始まるとは、先が長いと感じる。この時期になると、つい最近の出来事ばかりが頭に浮かぶ。31年という長い人生、振り返ると、いろいろな経験が、今の自分を作っている。今年も、いろいろな経験が、今の自分を作っている。今年も、いろいろな経験が、今の自分を作っている。

シリーズ

地域のブランド化とは

その⑧

つる細工

周囲を山に囲まれた本町の伝統工芸「つる細工」。

つる細工は、アケビや山ブドウ、マタタビなど自然界で鍛えられた天然素材が人間の知恵と技術によって、ザルやカゴ、カバンなどに形を変え、自然と共に生きる小国の人々の生活を支えてきました。

もともと小国では、冬の農閑期につるや樹皮、わらなどを素材とした細工品を作り、農作業や食料品を収納する暮

らしの道具として使われてきました。

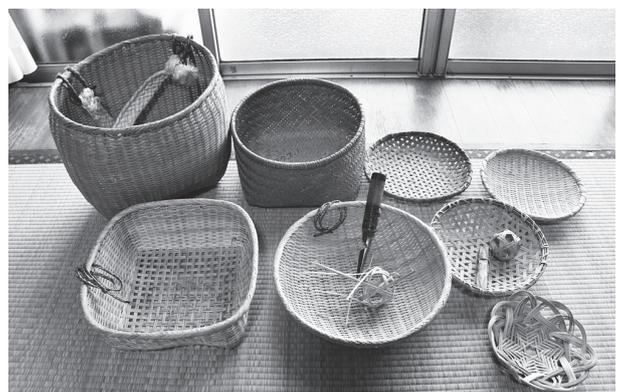
今年93歳を迎えた大石沢の高橋初太郎さんは、20代後半から始めたつる細工を続けています。「昔は店に行ってもザルやカゴなどはなく、山に行く時や農作業、普段の生活の中で必要だったから自分たちで作るしかなかった。近所の年寄りから基本的なことだけ習ったが、古いものを見て編んで、わからない時には聞

きに行って作って覚えた。使う材料は主にマタタビ。つる細工をしている人は、マタタビや山ブドウなど1つの材料で様々なものを作る。つる細工の材料は天候に左右されるし、幅や厚みをそろえる下

ごしらえの作業が一番大変。」そう話しをしながら、慣れた手つきで猫じゃらしをあつという間に編んでいく高橋さん。

観光協会では昭和58年から毎年1月に「つる細工講習会」を開いており、今年度で36回目。つる細工の技を求め多くの人が集まり、これまで延べ約1400人が受講し、冬の伝統行事になっています。

近年、つる細工を作る職人や後継者が不足している中、材料のつるそのものも減ってきているそうです。こうした背景からか、つる細工の価値が見直されつつあり、つるで



高橋さんが作ったカゴやザル中には40年もの作品も

作ったカバンはブランドバツク並みの値段が付くこともあります。

つる細工は、耐久性に優れ、長期間使用可能で、使っているうちに手になじみ、色合いもさまざま。昔ながらの生活必需品のほか、お洒落なカバンとして、また、インテリアの一部として様々な形での活路が見出されています。

自然の産物に絶え間なく注がれた人々の知恵と技術によって生まれた「つる細工」は小国ブランドと言えるのではないでしょうか。



慣れた手つきで取材の間に猫じゃらしを作る高橋さん